

令和6年度 伊勢崎市佐波郡中体連新人剣道大会要項

1. 主催 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 伊勢崎市教育委員会 玉村町教育委員会

2. 後援 伊勢崎佐波剣道連盟

3. 日時 令和6年9月21日(土) 会場準備・竹刀検量 集合・開館 9:00
9月22日(日) 本大会 ― 男女 団体戦・個人戦
集合・開館 8:00 (保護者入場 8:30) 開会式 8:50
解散 16:00

4. 会場 玉村町社会体育館
佐波郡玉村町大字上之手1517 0270-65-6699・6537

5. 大会役員

部長	高橋 幸伸 (玉村中)		
副部長	佐藤 昭宏 (玉村中)		
委員長	真下 東 (宮郷中)		
副委員長	大久保智史 (玉村中)	山崎 凌佑 (あずま中)	
委員	秋山 俊樹 (二中)	細野 孝平 (三中)	原島 留美 (三中)
	櫻井 勇希 (四中)	斎藤 亮介 (四中)	須田 涼子 (殖蓮中)
	涌沢 直行 (宮郷中)	小此木勇季 (宮郷中)	小板橋梨依 (赤堀中)
	木村 裕之 (赤堀中)	菅原 晃子 (あずま中)	吉澤 春雄 (境南中)
	森村 祥子 (境南中)	竹内 博利 (四ツ葉中)	常見 真奈 (四ツ葉中)
	友成ゆうみ (玉村中)		
事務局	大久保智史 (玉村中)	真下 東 (宮郷中)	
会計・報道	真下 東 (宮郷中)		

6. 競技役員

進行	大久保智史	山崎 凌佑	涌沢 直行	真下 東
コート作成	①櫻井 勇希	②小板橋梨依	・涌沢 直行	③竹内 博利 ④大久保智史
検量	竹内 博利	櫻井 勇希	山崎 凌佑	大久保智史
試合場係	①須田 涼子	・木村 裕之	②細野 孝平	・小此木勇季
	③吉澤 春雄	・本木 弘章	④菅原 晃子	・斎藤 亮介
				・羽鳥 晃
本部記録・賞状	竹内 博利	秋山 俊樹		
接待・受付	原島 留美	友成ゆうみ		
救護	佐藤三奈子 (看護師)			
審判員	伊勢崎佐波剣道連盟審判員			
	高体連・小体研審判員 (田代、秋場、貞形、近藤、小此木)			
	中体連審判員 (涌沢、真下、大久保、小板橋、山崎、櫻井、常見)			
試合場係生徒	①あずま中男子	②赤堀中	③四ツ葉中	④あずま中女子
	<u>※団体戦で補員の生徒、個人戦で序盤に敗退した生徒にも 試合場係に入ってもらいます。</u>			

7. 部活動指導員

羽鳥 晃 (殖蓮中) 本木 弘章 (二中)

8. 参加資格

伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟に加盟した学校に在学し、当該学校長の参加許可を得た生徒であること。

9. 監督・引率

参加選手の監督・引率は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。

10. 参加制限

- 団体戦 ― 男女各1チーム (正選手5名・補員2名)
- 個人戦 ― 男女とも各校正選手5人+補員2人+正選手・補員以外の2年生

1.1. 競技規則・競技方法

(1) ○団体戦

- ・男女とも、予選リーグ、決勝トーナメントを行う。(男9チーム、女子7チーム) 県強化練習会および市郡強化練習会における戦績を踏まえ、市郡新人戦のシード校を設定する。
- ・3分3本勝負。決しないときは引き分けとする。
- ・リーグ戦の各試合の勝敗は、勝者数→総本数の順で決め、すべて同数の場合は引き分けとする。
- ・リーグ戦の順位は、勝ち数(勝ち1、引き分け0.5)→勝者数→総本数の順で決め、すべて同数の場合は代表者戦を行う。代表者は任意で、3分1本勝負とし、決しないときは延長戦を勝敗の決するまで行う。三すくみの場合は3分3本勝負とし、延長戦は1本勝負で勝敗の決するまで行う。
- ・決勝トーナメントの勝敗は、勝者数→総本数の順で決め、すべて同数の場合は代表者戦を行う。代表者は任意で、3分1本勝負とし、決しないときは延長戦を勝敗の決するまで行う。

○個人戦

- ・トーナメント戦。
- ・3分3本勝負。勝敗が決しないとき、延長戦を勝敗の決するまで行う。
- 延長戦は2分きざみとし、2回行うごとに3分程度の給水時間をとる。なお、給水の際は場外の待機場所面で面を外す。また、給水時間に選手はアドバイスを受けないこと。

(2) 大会細則

- ①突き技は禁止とする。
- ②上段はとらせない。(隻腕については、その都度協議する。) 二刀は使用させない。片手技は有効打突としない。無理押しはしないこと。
- ③サポーターなど(足袋・テーピングを含む)の使用については、試合場係の先生に届けてオーダー表に記入してもらうこと。両足可。届け出のない場合はその場で外させる。ゴムや革およびすべり止めを底にはった物などは禁止。指先単独でのテーピングは届け出不要とする。
- ④防具・剣道着・袴の着装をきちんとすること。面紐の長さは、結び目から40cm以内(長い場合は切る)。面の乳革は黒・紺とする。また、面金を黒塗りにするなど通常の配色でない面は使用しない。胴紐はほどけないようにする。小手紐はきちんと結ぶ。お守りなどの付属品はつけない。鏢(つば)の色は革色、白色のものを使用する。透明色は認められずその場で取り替えさせる。
- ⑤竹刀は3尺7寸以下を使用する。重さは男440g、女400g以上とし、先端部最小直径(男子25mm以上・女子24mm以上)、ちくとう最小直径(男子20mm以上・女子19mm以上)が基準に満たない物の使用は禁止する。竹刀の検量は、団体戦・個人戦出場者は必ず行うこと。

[違反をした場合について]

- 該当競技者は失格とし、既得権を認めない。さらに相手に2本を与える。
- リーグ戦においては、補員の補充は認めず、すべての試合に前項を適用する。ただし、トーナメント戦においては、次の試合から補員の補充を認める。個人戦においては、発覚時点で失格となり、以前の試合にはさかのぼらない。

- ⑥選手の名札は、校名を上横書き、名字を縦書きにし、垂れにつける。
- ⑦団体戦に4名で出場の場合は次鋒が、3名で出場の場合は次鋒・副将が不戦敗となる。
- ⑧試合中は、面マスクまたはマウスガードを着用する。
- ※その他は、全日本剣道連盟剣道試合・審判規則および、全日本剣道連盟による「剣道試合・審判・運営要領の手引き」「感染症予防ガイドライン」に準ずる。

(3) 申し込み方法

9月13日(金)までに事務局宛に選手名簿データを送信する。また、大会初日に職印を押した選手名簿を提出する。※事務局に送ったデータを決定とし、提出する選手名簿がそれと異なることのないようにすること。

(4) その他

- ①監督および審判の服装は、紺のブレザー・白のワイシャツ・えんじのネクタイ・グレーのズボン・紺の靴下に準じたものとする。(全日本剣道連審判員服装規定に準じる。)
 - ②決勝戦は伊勢崎佐波剣道連盟・高体連・小体研・中体連の先生方に審判をお願いする。
 - ③表彰 団体は1位～3位、個人は1位～3位及び敢闘賞に賞状を与える。
団体戦優勝・準優勝チームには、優勝杯・準優勝杯を与える。
(前年度優勝校は優勝杯、準優勝校は準優勝杯の返還を行う。)
- 男子：①第三中 ②殖蓮中 女子：①第二中 ②あずま中

- ④各校はオーダー表(B4用紙2枚を貼り合わせたもの)を21日に提出する。

	先	次	中	副	大
○					
○					
中					

※女子は学校名を赤で記入する。

- ⑤保護者の応援は密にならないよう留意し、声援は控え拍手のみとする。
- ⑥会場の一般利用者に配慮し、保護者は2階ギャラリーのみを使用することとし、1階ギャラリーやロビーは使用しない。
- ⑦送迎、駐車場等での事故やトラブルは、一切の責任を負えませんので十分ご注意ください。